

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	現地ODAタスクフォース遠隔セミナー	担当部局庁	国際協力局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	国別開発協力第三課	課長 貴島 善子			
会計区分	一般会計	施策名	IV-I 経済協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一号ハ、第二十四号第二十五号、第二十六号、第二十七号	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	開発途上国での政府開発援助を効果的かつ効率的に実施するため、各国共通の開発課題に関して本省からの情報提供を行うとともに、本邦関係者(本省、JICA本部等)と現地ODAタスクフォース間の知見・情報の共有を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	テレビ会議を活用して、本邦関係者(本省、JICA本部等)と途上国の我が国現地ODAタスクフォース(メンバーは大使館、JICA、JETRO他政府関係機関)を結び、開発援助の潮流や必要開発課題に関するプレゼンテーションや議論を通じて、現地ODAタスクフォース機能の強化を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	5	5
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	5	-
	執行額	-	-	-	-	-	
執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	【成果目標】 現地ODAタスクフォースの開発課題に関する理解やODA案件の企画・立案・実施能力の向上。	成果実績	%	-	-	-	75%
	【成果実績のはかり方】 遠隔セミナー参加者のアンケート結果で、セミナーが有益であったと考える人の割合。	達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	【活動指標】 遠隔セミナーの年間開催回数、参加者数、及び参加国数	活動実績 (当初見込み)	回/人/力国	-	-	-	() () (10回)
単位当たりコスト			算出根拠				
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	謝金	5	5	本件に関しては、ODAの戦略的・効果的な活用に関する「重点要求」			
計	5	5					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	被援助国の開発ニーズについて現場で情報を収集し、効果的な案件形成・実施に資するために現地体制を強化する。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により選定した(入札者:7者)。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	現地ODAタスクフォース間の知見の共有を促進する。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業により、各国共通の開発課題に関して本省からの情報共有を行うとともに、本邦関係者(本省、JICA本部等)と現地ODAタスクフォース間の知見・情報の共有を図り、政府開発援助を効果的かつ効率的に実施することができる。		
予算監視・効率化チームの所見			
			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			-
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	34